

■ 節電行動計画

(平成30年7月～9月)

| | | | |
|------|-------|-------|--------|
| 施設名称 | 岬陽小学校 | 施設管理者 | 学校長 |
| | 節電管理者 | 教頭 | 節電副管理者 |
| | 節電管理者 | | 節電副管理者 |
| | 節電管理者 | | 節電副管理者 |

| | | | |
|------|-----------------------|------|--|
| 節電目標 | 平成22年度同月の電力使用量比で△9.0% | 節電実績 | |
|------|-----------------------|------|--|

目標効果設定に向けて実施する基本アクションです。

目標効果設定

| | チェック | | |
|------|------|--|------|
| 照明 | レ | ・執務室内の照明は適正な照度を保ちつつ、不要な蛍光灯等を削減します。(減灯率10%) | 5.0% |
| | レ | ・使用していないエリア(会議室、廊下等)の消灯を徹底します。 | |
| | レ | ・体育館の水銀灯の減灯(減灯率10%) | |
| 空調 | レ | ・執務室の室内温度は夏期は28℃に設定します。 | 1.0% |
| | レ | ・運転時間は、冷房時は原則として13時から17時までとします。 | |
| OA機器 | レ | ・PC画面の明るさ設定を40%以下に設定します。 | 3.0% |

さらに節電効果が期待できるアクションも実施します。

| | チェック | |
|---------|---------------------------------|---|
| 照明機器 | レ | 自然光で照度が賄える部分は原則消灯します。 |
| | レ | 共用部分の照明は安全対策を講じた上で間引き及び消灯します。 |
| | レ | 就業時間後は一斉消灯します。(特定日のみ) |
| | レ | トイレ室内は原則使用時だけ点灯します。 |
| | レ | 残業時には、業務場所を集約し必要な照明を減らす工夫をします。 |
| 空調等動力機器 | レ | フィルター掃除は2週間に1度実施します。 |
| | レ | 機器運転中は、扇風機などの補助機器により対流を図り、効率化を図ります。 |
| OA機器 | レ | スクリーンセーバーや壁紙は禁止します。 |
| | レ | 2時間以上の離席時には、PCを「シャットダウン」します。 |
| | レ | 2時間以内の離席時には、PCを「スタンバイ」にします。 |
| | レ | 退校時には電源アダプターのコンセントを抜きます。 |
| | レ | 待機電力が発生する周辺機器は使用時以外、電源オフにします。 |
| | レ | 校舎内で見直しを行い、同一機器の使用台数を削減します。 |
| | レ | 夜間・休日などは電源オフを実施します。 |
| | レ | 印刷出力時は、縮小・複合・両面等で印刷枚数(稼働時間)を削減します。 |
| その他機器 | レ | ファックス受信は、電子メールを活用したメール受信に極力移行を依頼し、印刷出力を削減します。 |
| | レ | 冷蔵庫は、校舎内で合同使用とし、使用台数を削減します。 |
| | レ | 冷蔵庫の庫内温度を適切に設定(強→中)し、効率的に使用します。 |
| | レ | 庫内清掃、整理を行い、冷気循環を考慮した整頓をします。 |
| | レ | 冷蔵庫の無駄な開閉をやめます。 |
| | レ | 電気ポットは沸騰後、保温ポットに移し、使用後はコンセントから電源プラグを抜きます。 |
| レ | 温水器は、夏季期間は原則使用を禁止します。 | |
| レ | 温水洗浄便座は、温水温度は「弱」若しくは「低」の設定にします。 | |

ワークスタイルによる節電対策も実施します。

| | チェック | |
|------|------|-----------------------|
| 職員行動 | レ | 校内の会議時間は原則1時間以内に努めます。 |
| | レ | クールビズによる取組みを徹底します。 |
| | レ | 時間外勤務による電力消費を抑制します。 |

持続可能な節電行動を継続するなかで、快適な執務環境を維持しながら、より効率的な節電を目指します。